

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	合成耐火被覆小委員会		主 査 名：河野 守 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：田中哮義 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼構造部材を対象に、合理的な合成耐火被覆の耐火性能評価方法の検討 ・ 実態に即した施工方法に関する調査 ・ 部材取り合い部等のあり方について、必要な耐火性能の観点からの整理 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	河野守 (東京理科大)、白岩昌幸 (建材試験センター)、大金利郎 (ロックウール工業会)、佐藤博臣 (ERS)、田坂茂樹 (日本建築総合試験所)、棚池裕 (東京理科大)、田中治 (太平洋マテリアル)、中村賢一、成瀬友宏 (国総研)、宮崎孝史 (ロックウール工業会)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価		
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)		
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1.		
講習会	1.	参加者数	名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1.	参加者数	名
	2.	参加者数	名
大会研究集会	1.	参加者数	名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 合成耐火被覆の構成、実態に即した施工方法等についての調査がほぼ終了し、公開資料としてのとりまとめが終わった。 2. 部材の取り合い部等で、実務上、必要な耐火被覆のあり方に関する明確なガイダンスのない部分に関して洗い出しを行い、必要な耐火性能の観点からの検討を開始して委員会内審議資料として整理した。		
委員会活動の問題点・課題	1. 成果の取りまとめに時間を要している。 2. 耐火認定資料等で権利者の許諾なしでは公開できない資料の取り扱いに苦慮している。 3. シンポジウム等の開催の検討が遅れている。		

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。